

## 地域経営の観点に立った社会的サービスの提供モデルイメージ

	パターン 1	パターン 2	パターン 3	備考（関連する法制度等）
地域 特性 分野	日常生活圏内に人口数万～10万人程度の都市があり、ある程度の社会的サービスが提供されている	日常生活圏内には中心となりうる程度の都市がない地域	本土と海で隔てられた離島など。一定の社会的サービスを地域内に整備する必要がある	
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域の中心都市と周辺地域とを結ぶ路線バスが整備されている</li> <li>・ 高校生の減少などにより公共交通サービスの利用者数が減っていることから、バスの運行スケジュールの見直しや廃止代替バスへの切り替えなどの効率的な運営の工夫が行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行頻度は少ないが地域の中心集落と地域内とを結ぶ路線バスが整備されている</li> <li>・ 路線バスに福祉バスやスクールバスの車両を使用したり、デマンドバス方式で運行したりするなどの工夫が行われている</li> <li>・ 中心集落から離れた地区では、いわゆる買い物バスなどが NPO により運行されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に公共交通が存在しない地域では、必要に応じて住民が相互に助け合いながら、交通機能を確保している</li> <li>・ 離島と本土との航路が公的な支援により確保されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路運送法 21 条、80 条により、国土交通大臣の認可を受けた事業者等がバスを運行でき、廃止路線の代替バスとして各地で運行されている</li> <li>・ 構造改革特区による「交通機関空白の過疎地における有償運送可能化事業」では、NPO 等による有償運送体制を設けた場合、当該 NPO 等による道路運送法第 80 条第 1 項に基づく申請に対し、速やかに許可を行うこととする特例措置がある</li> </ul>

教育	<b>【小中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自力で通学可能な範囲に学校が設置されている</li> <li>・ 地域内に多様な職場があることなどから、様々な分野でボランティア講師による授業が行われている</li> </ul>	<b>【小中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部の小規模校では、複式学級による授業が行われている</li> <li>・ 大勢の子供とともに学んだり、より専門性の高い教科指導を受けたりするため、地域の他の学校と連携し IT を利用した合同授業が行われている</li> <li>・ 一部の小中学校では、通学のためのスクールバスが運行されている。</li> <li>・ スクールバスは福祉バスなどの役割も兼ね、運転手にはバス・タクシー会社 OB を採用するなどの経費節減の工夫が行なわれている</li> </ul>	<b>【小中学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの学校では、複式学級による授業が行われている</li> <li>・ 大勢の子供とともに学んだり、より専門性の高い教科指導を受けるため、地域の他の学校と連携し IT を利用した合同授業が行われている</li> <li>・ 一部の小中学生は船で本土の小中学校に通学している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文部科学省の第 7 次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画において地方の自由度の拡大が明記された。これにより、複式学級の解消や少人数学級の実施等の措置を都道府県の判断で講じることが可能になった</li> <li>・ へき地教育振興法に基づき、国はスクールバスの購入や寄宿舎の居住費に要する一部の経費について補助を行っている</li> </ul>
	<b>【高等学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無理なく通える範囲内に高校が整備されている</li> </ul>	<b>【高等学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無理なく通学できる範囲に高校がない場合もあることから、一部の生徒は地元を離れ、寄宿舎や地域のボランティアなどが運営する下宿で生活している</li> </ul>	<b>【高等学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの地域には高校がないことから、毎日の通学が難しい生徒は、寄宿舎や地域のボランティアなどが運営する下宿で生活している</li> </ul>	
	<b>【大学・専門学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部の地域では地域内に大学・専門学校が立地している</li> </ul>	<b>【大学・専門学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの地域では地域内に大学・専門学校が立地していない</li> </ul>	<b>【大学・専門学校】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの地域では地域内に大学・専門学校が整備されていない</li> </ul>	
	<b>【生涯学習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域内の大学や自治体、市民団体による多様な講座が開かれている</li> </ul>	<b>【生涯学習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体、地域団体による講座が開かれている</li> </ul>	<b>【生涯学習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体、地域団体による講座が開かれている</li> </ul>	

医療・福祉	<p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療支援病院を中心として、一次医療サービスから多様な専門医療サービス・救急医療が地域内で提供されている</li> <li>・ 一部の地域では医療機関により送迎バスが運行されている</li> </ul>	<p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次医療サービスはほとんどの地区で提供されているが、専門的な医療サービスは他の地域に通わなければならないものも多く、このような分野ではITによる遠隔医療も行われている</li> <li>・ 一部の地区ではへき地医療拠点病院などによる医師派遣や代診、巡回診療が行われている</li> <li>・ 高齢者を対象にした病院への送迎サービスがボランティアによって行われている</li> </ul>	<p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療支援病院やへき地医療拠点病院などによる医師派遣や巡回診療を活用しながら一次医療サービスが提供されている</li> <li>・ 一部の地区では医師派遣や救急患者の搬送にヘリコプターが利用されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域医療支援病院」や「へき地医療拠点病院」などが指定され、補助金による国の政策的な支援により医療サービスの充実やへき地への医師派遣などが行われている</li> <li>・ NPO 等による福祉有償運送事業が、構造改革特区の取り組みから全国へと拡大</li> </ul>
	<p>【介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域内で通所型の介護保険施設が利用できる</li> <li>・ 地域住民や NPO により、介護ボランティアや、単身高齢者世帯への声かけ、配食サービスなどが行われている</li> </ul>	<p>【介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通所型の介護施設への送迎福祉バスが行政やボランティアによって運行されている</li> <li>・ 地域住民や NPO により、介護ボランティアや、単身高齢者世帯への声かけ、配食サービスなどが行われている</li> <li>・ 巡回の頻度が確保しにくい山間部の集落では、IT を利用した声かけサービス等も行われている</li> </ul>	<p>【介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の濃密なコミュニティの中で住民相互の助け合いが行われている</li> <li>・ 地域住民や NPO により、介護ボランティアや、単身高齢者世帯への声かけ、配食サービスなどが行われている</li> </ul>	

医療・福祉	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所を補完する育児サービスが NPO によって提供され、母親も多様な職業選択が可能になっている</li> <li>・ NPO により親に対する子育て相談や指導が行われている</li> </ul>	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所は多くないものの、地域の高齢者なども参加して地域社会全体での子育て支援が行われている</li> <li>・ NPO が運営する自然学校で、地域や都市の子供たちに自然体験指導のサービスが行われている</li> </ul>	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の高齢者なども参加して地域社会全体での子育て支援が行われている</li> <li>・ NPO が運営する自然学校で、地域や都市の子供たちに自然体験指導のサービスが行われている</li> </ul>	
安全・安心	<p>【消防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常備消防の体制が整っている</li> <li>・ 周辺地域と消防相互応援協定が結ばれている</li> </ul>	<p>【消防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域的に常備消防の体制が整えられているが、最寄りの消防本部からの距離が遠い地区では、消防団を中心とした消防活動が行われている</li> <li>・ 周辺地域と消防相互応援協定が結ばれている</li> </ul>	<p>【消防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織を中心とした消防活動が行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管轄人口が 10 万人以下の消防本部を統合し、将来的に管轄人口が 30 万人以上となるように広域再編するという枠組みを盛り込む消防組織法の改正案が国会に提出された（2006 年 1 月）</li> <li>・ 全国の消防団員は 2003 年時点で約 92 万人</li> </ul>
	<p>【防犯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自警団や防犯ボランティアによる防犯パトロールなどの活動や、自治会活動・PTA 活動として地域一体的な防犯活動が行なわれている</li> <li>・ 一部のまちでは自治体により不審者情報や火災情報を携帯電話にメール配信するサービスが行われている</li> </ul>	<p>【防犯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自警団や防犯ボランティアによる防犯パトロールなどの活動や、自治会活動・PTA 活動として地域一体的な防犯活動が行なわれている</li> </ul>	<p>【防犯】</p>	

<p>買い物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型小売店や商店街などで一通りの日用品を購入することができる</li> <li>・ 空き店舗を活用して、地場農産品の直販が行われ、地産地消が生活スタイルとして定着している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嗜好品等は遠隔地まで買い物に出かけなければ入手できないものも多く、インターネット通信販売の利用機会が多い</li> <li>・ 移動が困難な高齢者世帯が多い山間部の集落には移動販売が定期的に食品や日用品を販売している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般の商店の維持が困難な地域では、生活協同組合方式などにより商店が営まれている</li> <li>・ 嗜好品等は遠隔地まで買い物に出かけなければ入手できないものも多く、インターネット通信販売の利用機会が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まちづくり三法」(都市計画法、中心市街地活性化法、大店立地法)の見直しの議論</li> </ul>
------------	---	--	---	---